



平成 29 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ン ト ラ ス ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 桑 原 豊
(コード番号：7191 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 太 田 博 之
(TEL:03-5213-0250)

平成 30 年 3 月 期 業 績 予 想 及 び 配 当 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表した平成 30 年 3 月 期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

① 平成 30 年 3 月 期 通期個別業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 2,891	百万円 671	百万円 649	百万円 427	円 銭 38.70
今 回 修 正 予 想 (B)	3,050	820	800	540	48.90
増 減 額 (B - A)	158	148	150	112	—
増 減 率 (%)	5.5	22.2	23.2	26.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月 期)	2,713	608	598	409	45.98

② 修正の理由

当第 2 四半期累計期間におきまして、保証サービス及びソリューションサービスともに順調に推移し、また、費用面では、安定的な回収活動の成果として、貸倒対象となる立替債権の発生を抑制できたことにより、貸倒引当金繰入額及び保証履行引当金繰入額が計画に対して削減されたほか、人件費等の経費が当初計画に対して抑制されたため、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益とも、当初計画を上回る結果となりました。下期におきましても、上期の傾向を反映するとともに、12 月より本稼動する横浜ソリューションセンターにおける業務受託を加味した結果、通期においても、当初計画を上回る見込みとなりましたので、上記のとおり業績予想を修正いたします。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想			—	4.00	8.00
今回修正予想			—	6.00	10.00
当期実績	—	4.00			
前期実績 (平成29年3月期)	—	0.00	—	8.00	8.00

修正の理由

当社は、将来の事業拡大と企業体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績と連動した安定的な配当を継続していくことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、当該基本方針に基づき、上記の業績予想修正を加味し、期末配当予想を1株当たり4円から6円に修正いたします。

(注)本資料に記載されている業績予想数値及び配当予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は、今後の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以上